

防災

減災

私たちの
未来を守る、



砂防出前講座 光明寺川砂防堰堤(令和6年10月実施)呉市川尻小学校5年生の皆さん

特集
1

いま知って、できることから
はじめよう、
災害への備え

特集
2

被爆・終戦80年
未来に平和をつなぐ
プロジェクト進行中

人口 2,701,212人(前年同月より22,400人減少) 男性 1,311,293人 女性 1,389,919人 ※令和7年5月1日現在 出典:広島県人口移動統計調査

広島県ではさまざまなメディアで
役立つ情報を発信しています。



ひろしま県民だよりWEB版はホームページよりご覧いただけます

※これらの二次元コードはスマートフォンのみ対応しています



広島県公式
LINE



LINE ID
@hiroshima_pref

広島県公式
Facebook



Facebook ID
@pref.hiroshima

広島県公式
TikTok



TikTok ID
@hiroshima_pref

広島県公式
X



X ID
@hiroshima_pref

広島県公式
Instagram

ええじゃろ広島



Instagram ID
@hiroshima_jpn

被爆・終戦 80年

未来に平和をつなぐプロジェクト 進行中

被爆・終戦80年の節目にあたる今年、広島県では核兵器廃絶に向けた取組を加速させるため、「若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」を展開。次世代を担う若者達が、平和についての意識を高め、実際に行動できるようにするための教育・啓発事業を行っています。なお、次に紹介する3つのうち、『#未来へのおりづるキャンペーン』については、年齢を問わずどなたでも参加可能。未来に平和をつなぐアクションを起こしてみませんか。

8月～12月 高校生・大学生が集い、平和を未来へ

『被爆80年人材育成特別プログラム』

高校生・大学生を対象に、次世代を担う若者が核兵器問題や国際平和について深く学び、主体的に行動することを促す特別プログラムを8月～12月に実施。専門家による講義や海外でのフィールドトリップ、発信活動を通じて、参加者が国際平和に向けた具体的な知見と実践力を養うことを目指します。

※現在は参加者の募集は終了しています。

8月6日 世界のリーダーと若者が対話する一日

『国際平和のためのユース対話イベント』

国連訓練調査研究所(UNITAR)などの国連機関と連携して毎年開催している、国連幹部や政治のリーダーたちと若者の対話イベント。今年は、過去に実施した平和人材育成事業の修了生の参画や、大阪・関西万博の広島県ブースでの配信を予定しています。

8月5日～8月9日 おりづるを折ってSNSでシェアしよう

『#未来へのおりづるキャンペーン』

広島と長崎の原爆の日に、平和へのさらなる一歩を進めるため、SNSを活用したキャンペーンを実施します。参加方法は、8月5日～8月9日におりづるを折り、指定ハッシュタグを付けてSNSに投稿するだけと簡単。今年は大阪・関西万博での広島県ブースにも出展予定です。

大阪・関西万博でもキャンペーン実施!

大阪・関西万博の広島県ブース『RE:WORLD HIROSHIMA』(出展期間:8月5日～8月9日)にて、『#未来へのおりづるキャンペーン』連携企画として、平和への想いを形にする「折り鶴ワークショップ」を実施します。

いざという時のために 梅雨時期、台風シーズンに 備えてすることは?

県民の命や財産を守るために、広島県が取り組んでいる「災害に強い県土づくり」にクロースアップ。 実際に行われている最前線の取組を、まずは知ってみよう。

砂防施設の整備

豪雨などによる土砂災害から県民の命と暮らしを守るため、砂防施設の整備を進めています。効果が期待できる事例もあり、広島市安佐南区山本新町の「山本川支川第3支川砂防堰堤」では、令和3年8月の豪雨に伴い土砂が流出しましたが、事前に整備されていた砂防堰堤が流れ下ってきた土砂や流木を止めることで、下流地域の被害を軽減しました。効果的なハード対策を着実に進めつつ、既存施設の修繕・改築なども行っています。

ため池の対策

農業用ため池とは、降水量が少なく、大きな河川に恵まれない地域で農業用水を確保するために造られた人工池です。県内には、約16,500箇所のため池が存在し、その多くは江戸時代以前に築堤。そのうち決壊した場合に人的被害を与えるおそれのあるため池を「防災重点ため池」として約6,600箇所を指定。その補強・廃止による防災工事を計画し、進めるとともに、ため池の位置や決壊時における浸水想定区域図を広島県ため池マップで情報提供し、住民の速やかな避難行動につなげる対策に取り組んでいます。

流域治水の推進

「流域治水」とは、河川や水系全体を一つの単位として捉え、流域全体で水害を軽減させる取組のことを指します。広島県では流域に住む人々や企業などが流域治水について理解を深め、関心を持つよう工夫し、二級水系の流域治水プロジェクトを公表。このプロジェクトの加速・深化にむけて、令和7年3月には「流域治水協議会」を開催しました。今後も、河川の氾濫をできるだけ防ぐ、減らすといった対策を、より一層推進していきます。

住宅耐震化の補助を受けることも /

広島県では、地震による住宅の倒壊などの被害を防止するため、一戸建て木造住宅の耐震改修、建替え、除却を行う所有者または居住者に、市町とともに補助金を交付しています。県民の皆さんが補助制度を利用するためには、住宅の所在する市町が支援制度を運用している必要があります。下記の「支援制度を運用する市町」でご確認ください。

広島市 / 呉市 / 竹原市 / 三原市 / 尾道市 / 福山市 / 府中市 / 三次市 / 庄原市 / 大竹市 / 東広島市 / 廿日市市 / 江田島市 / 府中町 / 海田町 / 熊野町 / 坂町 / 神石高原町

防災DXの推進

DX(デジタルトランスフォーメーション)の活用に向けて、防災DXの推進にも取り組んでいます。その核となるのが、公共土木施設などに関する情報の一元化・オープンデータ化や、官民でのデータ連携を可能とするシステム「ドボロDX」の運用です。土木施設情報、過去に発生した災害の記録など、約120種類の567万データを搭載。それらの情報については、地域の自主防災アドバイザーを対象に操作説明会を実施し、防災訓練などで活用が進んでいます。

逆線引きの推進

「逆線引き」とは、街の整備を優先的に進める「市街化区域」から、整備を抑制する「市街化調整区域」へ見直しを行うこと。広島県では、災害リスクが高い土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)が多いことから、災害リスクの低い区域へ居住を誘導する「逆線引き」の取組を段階的に進めています。まずは市街化区域の縁辺部の低未利用地(田畑など)から優先的に実施していきます。

募集

■ 広島県職員採用試験

①短大・高校卒業程度試験

申込受付 7月1日(火)～9月9日(火)

1次試験日 9月28日(日)

受験資格 【短大卒業程度】

平成8年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者

【高校卒業程度】

平成16年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者

問合せ 人事委員会事務局 TEL 082(513)5144

②障害のある人を対象とした試験(身体障害者・精神障害者)

申込受付 7月1日(火)～9月24日(水)

1次試験日 11月2日(日)

受験資格 平成7年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者 など

問合せ 人事委員会事務局 TEL 082(513)5144

③障害のある人を対象とした試験(知的障害者)

申込受付 7月1日(火)～8月26日(火)

1次試験日 9月15日(月・祝)

受験資格 平成7年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者 など

問合せ 人事課 TEL 082(513)2252

教育委員会事務局管理部総務課

TEL 082(513)4911



④第2回社会人経験者採用試験

申込受付 8月25日(月)～9月24日(水)

1次試験日 10月19日(日)

受験資格 昭和39年4月2日以降に生まれた者 など

問合せ 人事委員会事務局 TEL 082(513)5144

■ 広島県職員採用選考試験(職業訓練指導員)

申込受付 7月1日(火)～9月9日(火)

1次試験日 9月28日(日)

受験資格 昭和39年4月2日以降に生まれた者 など

問合せ 商工労働局職業能力開発課 TEL 082(513)3431

■ 第2回広島県警察官採用試験

申込受付 7月1日(火)～8月26日(火)

1次試験日 9月21日(日)

受験資格 平成2年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者

問合せ 人事委員会事務局

TEL 082(513)5144

警察本部

TEL 082(228)0110

詳しくは 広島県 採用

検索



ミニ伝言板

■ 被爆二世健康診断のお知らせ

内容 原爆被爆者二世の方の健康管理に役立てていただくために、健康診断を実施しています。

対象者 両親のいずれかが原子爆弾被爆者で広島県内に在住の、昭和21年6月1日以降に生まれた方(広島被爆の場合)

実施期間 令和7年6月10日(火)～令和8年2月28日(土)

申込期間 令和8年1月31日(土)【当日消印有効】まで

申込方法 対象医療機関、市町役場などに備え付けの専用はがき、もしくは広島県ホームページから電子申請

問合せ 被爆者支援課 TEL 082(513)3116

広島市内在住の方は、

広島市援護課 TEL 082(504)2195



■ 夏の食中毒に注意しましょう!

内容 6月から9月は「広島県夏の食中毒予防期間」です。夏季は細菌性食中毒が最も発生しやすい

ため、食品の取り扱いには注意が必要です。食中毒予防の3原則「つけない」、「ふやさない」、「やっつける」をしっかり守り、食中毒を防ぎましょう!

問合せ 食品生活衛生課 TEL 082(513)3104



元気・美味しい・暮らしやすい、ひろしま みんなで創る「ひろしまブランド」



チーム500に参加し
広島を“元気”にする

雪月風花 福智院 店主

よしむね いすず

吉宗 五十鈴さん

世羅で暮らしていると、ゆったりとした風景や美しい季節の移ろい、農家さんが丹精込めて育てた食べ物など、里山ならではの豊かさを日々感じます。疲れた心をふっと癒してくれる力が、このまちにはあると思うんです。また、地元の女性たちがとても元気で、まちに明るささと活気をもたらしています。若い農家さんが多いのも頼もしいです。そんな世羅の魅力を、自然あふれる今高野山で営むカフェや地域活動を通じて、国内外の方々に発信しています。

【プロフィール】三重県出身。結婚により広島県へ。花観光農園「世羅高原農場」で農業や広報に従事。「世羅高原カメラ女子旅」を主催、写真ツアーなどを実施。現在、世羅町で日本茶カフェ「雪月風花 福智院」を運営。

WEB版で
もっと
詳しく



庄原里山ラフティング

庄原市に流れる西城川をゴムボートで下る水上アクティビティ。インストラクターが同乗し、ライフジャケットやヘルメットなど必要な道具は貸出があるので、初心者や子どもも気軽に参加できます。全長約3.5キロのコースを、力を合わせてボートを漕いで川下り。途中には急流や岩場がありスリル満点! また、集合場所の敷地内「鮎の里公園 高瀬の湯」では、宿泊やオートキャンプ、温泉が楽しめます。要事前予約で、日本一といわれる西城川の鮎を食べることもできます。

詳しくは 庄原里山ラフティング

検索



しょうばら し
庄原市

いま行きたい! 夏のひろしま 案内

PRESENT 広島市中区基町

OMNIBUS ROASTERS MOTOMACHI HUB STATION
ドリップバッグ詰め合わせ & キャニスターセット

応募締切 2025年7月31日(木)消印有効 応募先 〒721-0964 広島県福山市港町1-15-27 株式会社アスコン内「ひろしま県民だより プレゼント係」 応募要項 [ハガキ] 住所・氏名・年齢・電話番号・今回の県民だよりの感想を明記の上、郵送にてご応募ください。 [WEB] 右記二次元コードより読み取る、またはひろしま県民だよりHPからご応募ください。

「県庁前SHOP&CAFE」の敷地内に佇む、スペシャリティコーヒーの専門店「OMNIBUS ROASTERS MOTOMACHI HUB STATION」。こちらでは店内に焙煎機を設置し、新鮮で高品質な自家焙煎コーヒーが提供されている。そんなお店の味を自宅で手軽に楽しめるドリップバッグの詰め合わせと、コーヒー豆が保管できるキャニスターをプレゼント。このキャニスターを持ち込んで店頭で豆を購入すると、100gごとに100円が割引となる。ドリップバッグで、豆で、こだわりのコーヒーを堪能しよう。

※応募は1人につき1回のみの有効。個人情報保護法に基づき、応募者情報はプレゼント発送と読者調査にのみ利用いたします。※なお、感想をHPIに掲載させていただきます。予めご了承ください。※プレゼントの応募受付・発送・アンケートの取りまとめに際しましては、紙面制作を受託する株式会社アスコンが行います。

ボクの、ワタシの
推しスポーツチーム!

Vol. 13

小泉病院 Blue Arrows

創立 2019年
選手数 22名(2025年7月)

勢いあるプレーとゲーム展開が魅力のチーム

三原市にある小泉病院のスポーツ活動として2019年に創部した「小泉病院 Blue Arrows」。チーム内には広島県出身の選手も多く、選手たちは病院での勤務を終えてから専用グラウンドに集まりチーム練習や自主練習に励んでいます。今シーズンは新戦力が10人も加わり、新たなチームづくりのもとスタートをきったチーム。創部以来築いてきた「楽しくソフトボールをする」というチームらしさをベースに、今季はさらに投打ともに戦力を増し、開幕戦から勢いのあるプレーとゲーム展開でファンを魅了しています。今シーズンのチームスローガンは、「Reborn to win “25” 勝つための再生」。2022年の日本女子ソフトボールリーグへの参戦以降、念願となるリーグ優勝に向けてチーム全員で結果にこだわりながら戦っています。

Team WISH
We illuminate Sports in Hiroshima